

(OFFICE BANK 21 → OFFICE BANK Value)

VALUX 対応 FB ソフトへの入替手順

お問い合わせ先

EBデスク

電話番号 0120-404-474

一部のIP電話などフリーダイヤルが繋がらない場合

025-241-3762 (通話料有料)

受付時間 8:45~18:00 (銀行営業日に限ります)



<本手順書のご説明>

本手順書は、FB ソフト(OFFICE BANK 21)を VALUX 対応 FB ソフト(OFFICE BANK Value)に入れ替えてご利用いただく操作手順です。

事前に本手順書の内容を確認のうえ、ご操作いただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、EB デスク(フリーダイヤル0120-404-474)にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

※本手順書では総合振込を例として説明いたします。

(他の取引の場合、総合振込みの代わりに該当のサービスを選択してください)

<操作概要>

●FB ソフト(OFFICE BANK 21)で操作

(手順1) バックアップ作成(データコピー処理)

FB ソフト(OFFICE BANK 21)のデータをバックアップします。

●FB ソフト(OFFICE BANK Value)で操作

(手順2) FB ソフトインストール

FB ソフト(OFFICE BANK Value)をインストールします。

(手順3) バックアップ復元

FB ソフト(OFFICE BANK 21)でバックアップしたデータを FB ソフト(OFFICE BANK Value)に復元します。

(手順4) データコンバート

FB ソフト(OFFICE BANK 21)のバックアップを読み込むと、自動的にコンバートデータを検出し内部コンバートが行われます。

●各種事前設定を「キー坊」サービス用から「BIZ-VALUX」サービス用に変更

(手順5) 事前設定－証明書新規取得

NTT データと VALUX 契約した内容(企業 ID・証明書 ID 等)を新規登録します。

(手順6) 事前設定－ANSER 通信環境設定

ANSER(照会・資金移動)の通信設定を VALUX 接続用に変更します。

(手順7) 事前設定－接続先銀行登録

データ伝送(総合振込・給与賞与振込・口座振替・地方税納入)の通信設定を VALUX 接続用に変更します。

(手順8) 事前設定－会社情報登録

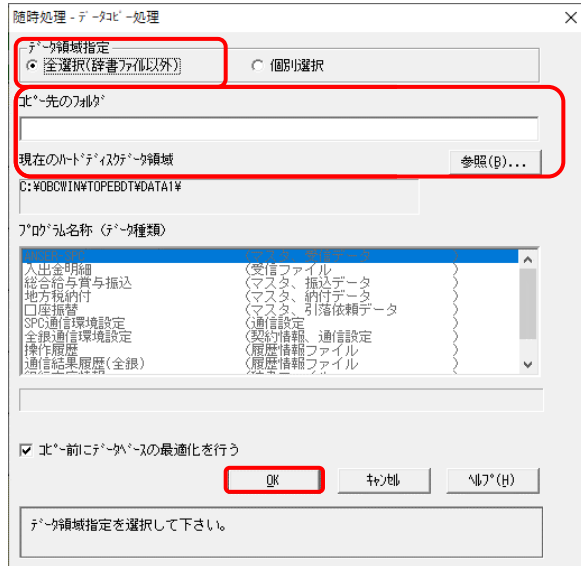
データ伝送で利用する会社コード(委託者コード)の設定を新しい(BIZ-VALUX)サービス用に変更します。

(手順 1) バックアップ作成(データコピー処理)

(手順 1-1)

- ・FBソフト(OFFICE BANK 21)を起動します。
- ・[随時処理]-[データコピー処理]メニューを選択します。

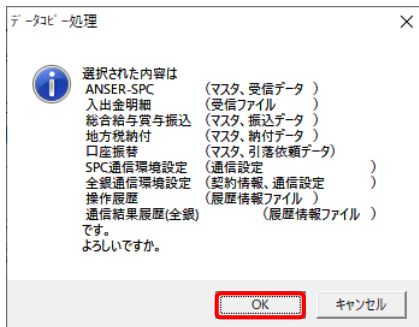
(手順 1-2)



- ・[データコピー処理]画面が表示されます。
- ・必要項目を入力し、[OK]をクリックします。

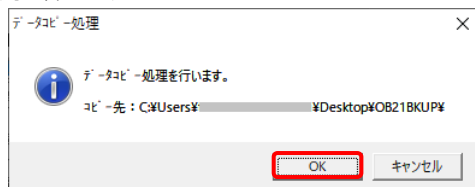
- ・バックアップを作成するデータは、データ領域全体をコピーする「全選択(辞書ファイル以外)」を選択してください。
- ・[機能]-[利用者登録]メニューで登録されている利用者の情報は、バックアップ作成の対象には含まれません。
- ・複数のデータ領域を管理している場合は、各データ領域を選択しなおして、それぞれバックアップを作成する必要があります。

(手順 1-3)



- ・選択された内容が表示されます。
- ・[OK]をクリックします。

(手順 1-4)



- ・コピー開始メッセージが表示されます。
- ・[OK]をクリックします。

(手順 1-5)



- ・コピー完了メッセージが表示されます。
- ・[OK]をクリックします。

- ・バックアップ作成(データコピー処理)作業終了です。

(手順2) FB ソフトインストール

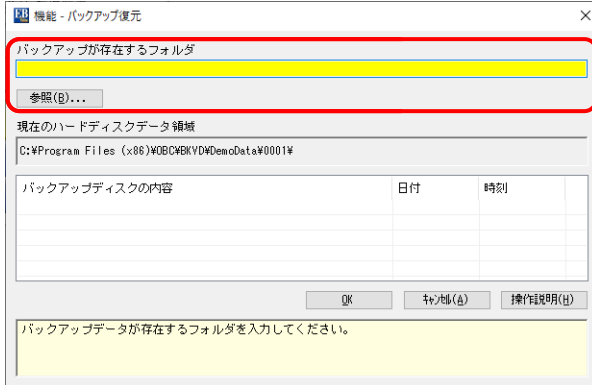
- ・FB ソフト(OFFICE BANK Value)のインストールを行ってください。
- ・インストール操作の詳細は、付属のマニュアルを参照願います。

(手順 3) バックアップ復元

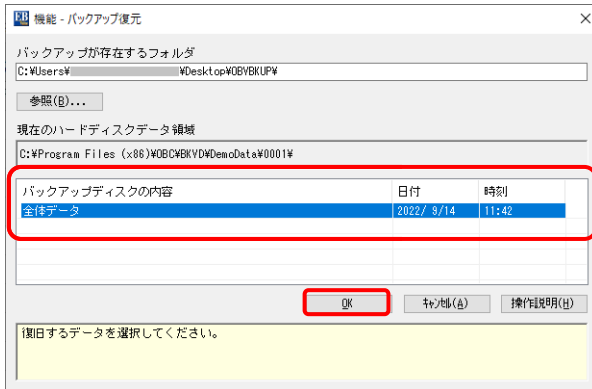
(手順 3-1)

- ・ FB ソフト (OFFICE BANK Value) を起動します。
- ・ [各種管理]-[1. 機能]-[2. バックアップ復元]メニューを選択します。

(手順 3-2)

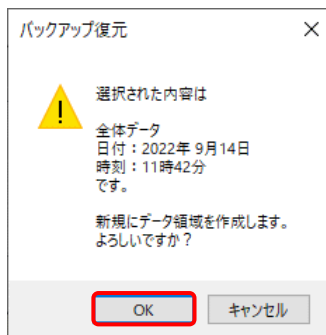


- ・ [バックアップ復元]画面が表示されます。
- ・ 「バックアップが存在するフォルダ」に、バックアップデータが存在するフォルダを指定します。



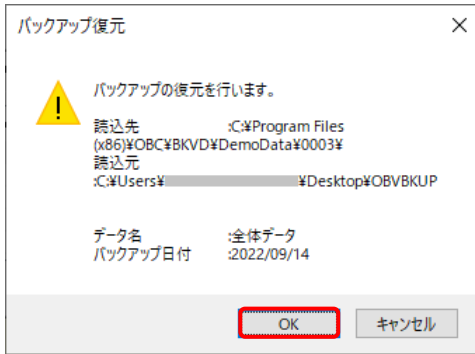
- ・ バックアップデータが存在するフォルダを指定すると、バックアップを取ってあるデータの一覧が「バックアップディスクの内容」に表示されます。
- ・ 復元を行うバックアップデータを選択し、[OK]をクリックします。

(手順 3-3)



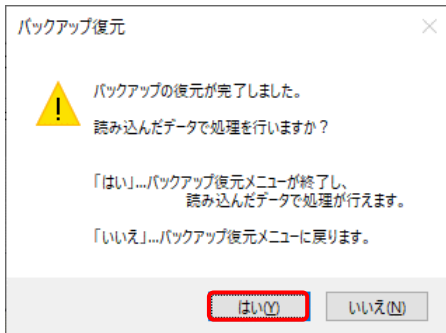
- ・ 復元するバックアップデータの内容が表示されま
- す。
- ・ [OK]をクリックします。

(手順 3-4)



- ・バックアップデータの読込先・読込元の情報などが表示されます。
- ・ [OK] をクリックします。

(手順 3-5)



- ・復元が終了すると、復元したバックアップデータを選択するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- ・ [はい] をクリックします。

- ・バックアップデータを復元したデータ領域が自動的に選択され、そのままデータを使用することができます。
- ・バックアップ復元作業終了です。

(手順4) データコンバート

注意

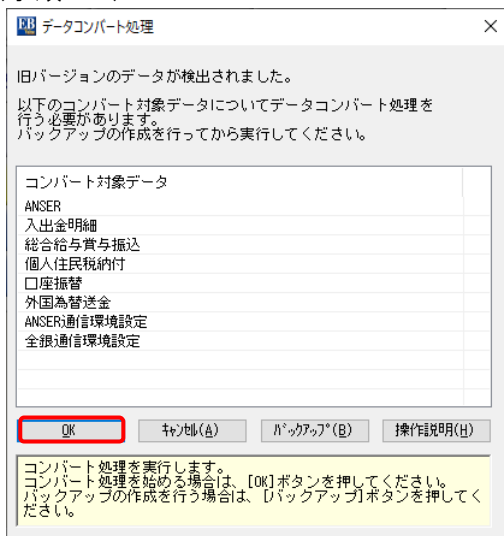
●ANSER 通信設定について

- ・FB ソフト (OFFICE BANK 21) で、各口座ごとにアクセスポイントを設定したデータを読み込むと、各口座ごとに設定している金融機関分のアクセスポイントの設定は、[各種管理]-[環境設定]-[通信環境設定]-[ANSER 通信環境設定]メニューにコンバートされません。
- ・FB ソフト (OFFICE BANK 21) の[環境設定]-[通信環境設定]-[SPC 通信環境設定]メニューで登録されていたアクセスポイントが、各金融機関のアクセスポイントとしてコンバートされます。
そのため、FB ソフト (OFFICE BANK 21) の[ANSER-SPC]-[マスタ登録]-[会社情報登録]メニューの[印刷] (F2) キーから、「会社マスター一覧表 (ANSER-SPC)」を印刷してください。
- ・データコンバート実行後、FB ソフト (OFFICE BANK Value) の[各種管理]-[3. 環境設定]-[2. 通信環境設定]-[2. ANSER 通信環境設定]メニューにおいて、印刷した「会社マスター一覧表 (ANSER-SPC)」を参照しながら、各金融機関ごとのアクセスポイントを設定してください。

●個人住民税納付について

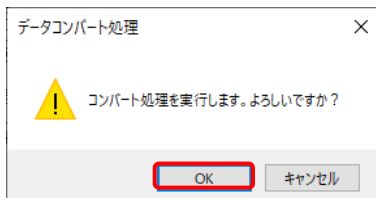
- ・FB ソフト (OFFICE BANK 21) の[各種管理]-[環境設定]-[通信環境設定]-[送信契約情報設定]メニューで、個人住民税納付の契約を登録されているお客様は、[外部データ処理]-[1. データ送信処理]メニューで、個人住民税納付の外部データを送信する際、「送信内容」に外部データの内容が表示されなくなります。
- ・[各種管理]-[3. 環境設定]-[2. 通信環境設定]-[4. 送信契約情報設定]メニューで、個人住民税納付の契約を呼び出し、「使用メニュー名」の「外部データ処理-データ送信処理」にチェックを付け、「対象サービス」で「5 個人住民税納付」を選択して、再度登録処理を行ってください。こちらを行うことで表示されるようになります。

(手順 4-1)



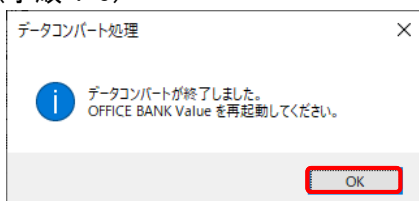
- ・FB ソフト (OFFICE BANK Value) をインストールした後の初回の起動時に、[データコンバート処理]画面が表示されます。
- ・[OK] をクリックします。

(手順 4-2)



- ・データコンバート確認メッセージが表示されます。
- ・[OK] をクリックします。

(手順 4-3)



- ・データコンバート終了のメッセージが表示されず。
- ・[OK] をクリックします。

- ・データコンバート作業終了です。

(手順 5) 事前設定－証明書新規取得

(手順 5-1)

- ・ [各種管理]-[3. 環境設定]-[2. 通信環境設定]-[1. 証明書発行・更新]メニューを選択します。

(手順 5-2)

メニュー

Version 5.0

証明書の新規取得・更新

利用する証明書の選択

アクティベーション認証

トークンの共用

終了

- ・ [メニュー]画面が表示されます。
- ・ [証明書の新規取得・更新]をクリックします。

(手順 5-3)

証明書の新規取得・更新

証明書の新規取得

証明書の新規取得を行う場合は、下記のボタンを押下し、表示する画面で必要情報を入力してください。

証明書の更新

証明書の更新を行う場合は、更新する証明書をリストから選択し、「証明書の更新」ボタンを押下してください。

情報	証明書ニックネーム	企業ID	証明書ID	サービス利用期間	証明書有効期限

※「期限切れ」と表示されている証明書（赤色）は、VALUXセンター経由で提供されるサービスが利用できません。
直急証明書の更新を行ってください。

証明書の更新

メニューへ戻る

- ・ [証明書の新規取得・更新]画面が表示されます。
- ・ [証明書の新規取得]をクリックします。

(手順 5-4)

証明書新規取得

証明書取得に必要な以下の情報を全て入力してください。

通知済み証明書情報

企業ID(12文字)

証明書ID(8文字)

ワンタイムパスワード(12文字)

パスフレーズ(6文字～20文字)

※企業ID/証明書ID/ワンタイムパスワードは御社に郵送されたID通知書の内容をご入力ください。
また、パスフレーズは契約時に御社で申請した内容をご入力ください。

追加登録情報

証明書ニックネーム(6文字～20文字)

※証明書ニックネームは、取得した証明書を判別(識別)するために使用します。
本入力画面にて半角英数8文字～20文字でご自由にご入力ください。

取得

戻る

- ・ [証明書新規取得]画面が表示されます。
- ・ 「企業 ID」「証明書 ID」など必要項目を入力し、[取得]をクリックします。

以下の書類をご準備ください

- ・ VALUX センターへ申し込まれた書類(申込書)
- ・ NTT より通知された ID 通知書

(手順 5-5)

- ・ 証明書の新規取得を行うかどうかのメッセージが表示されます。
- ・ [OK]をクリックします。

(手順 5-6)

- ・ 証明書の新規取得処理の結果が[結果]画面に表示されます。
- ・ 結果を確認し、[OK]をクリックします。

参考

証明書の新規取得処理に成功した場合は「正常終了」と表示されます。
また、新規取得処理に失敗した場合は失敗した理由が表示されますので確認ください。

(手順 5-7)

- ・ [利用する証明書の選択]画面が表示されます。
- ・ 新規取得した証明書が利用する証明書として選択されているかどうか確認します。
- ・ 確認が完了したら、[メニューへ戻る]をクリックします。

(手順 5-8)

- ・ [メニュー]画面が表示されます。
- ・ [終了]をクリックして終了します。
- ・ 証明書新規取得作業終了です。

(手順 6) 事前設定－ANSER 通信環境設定

(手順 6-1)

- ・ [各種管理]-[3. 環境設定]-[2. 通信環境設定]-[2. ANSER 通信環境設定]メニューを選択します。

(手順 6-2)

銀行コード	銀行名	接続方法	アクセスポイント
0002		VALUX (SPC)	関東 - 東京
0003	××銀行	ダイヤルアップ	関東 - 東京
0004		VALUX (HT)	-

- ・ [登録済一覧]リストから ANSER 通信環境設定を修正したい銀行をダブルクリックします。

(手順 6-3)

銀行コード	銀行名	接続方法	アクセスポイント
0002		VALUX (SPC)	関東 - 東京
0003	××銀行	ダイヤルアップ	関東 - 東京
0004		VALUX (HT)	-

- ・ 修正が必要な項目を入力し、[登録]をクリックします。

(手順 6-4)

ANSER通信環境設定

登録します。よろしいですか?

OK キャンセル

- ・ 確認メッセージが表示されますので、[OK]をクリックすると登録されます。

(手順 6-5)

- ・ [閉じる]をクリックして終了します。

- ・ ANSER 通信環境設定作業終了です。

(手順 7) 事前設定－接続先銀行登録

(手順 7-1)

- ・ [各種管理]-[3. 環境設定]-[2. 通信環境設定]-[3. 接続先銀行登録]メニューを選択します。

(手順 7-2)

- ・ [接続先銀行登録]画面が表示されます。
- ・ [修正] (F8) キーを押します。

(手順 7-3)

登録内容の説明	銀行コード	銀行名(カナ)	銀行名
○銀行	0002		
×銀行	0003	かんぽ	×銀行

- ・ [接続先銀行検索]画面が表示されます。
- ・ 修正する接続先銀行情報を選択して[OK]をクリックします。

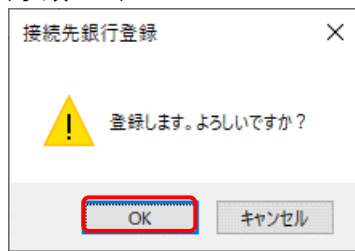
(手順 7-4)

- ・ 登録済みの内容が表示されます。
- ・ 修正が必要な項目を入力し、[登録]をクリックします。

修正が必要な項目

通信方法	VALUX
相手センター確認コード	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
貴社センター確認コード	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
接続先電話番号	0252478161
接続方法	IP アドレス
相手先 IP アドレス	10 . 2 . 48 . 1

(手順 7-5)



- ・登録確認メッセージが表示されます。
- ・[OK]をクリックします。

(手順 7-6)

- ・続けて他の接続先銀行情報も修正する場合は、[検索] (F8) キーを押します。
手順 7-3～7-5 の操作で修正してください。
- ・[閉じる] (F12) キーを押すと終了します。
- ・接続先銀行登録作業終了です。

(手順 8) 事前設定－会社情報登録

※本手順書では総合振込を例として説明いたします。

(他の取引の場合、総合振込みの代わりに該当のサービスを選択してください)

(手順 8-1)

- ・ [一括伝送]-[2. 総合振込]-[5. マスタ登録]-[1. 会社情報登録]メニューを選択します。

(手順 8-2)

- ・ 新規で会社情報を登録する画面が表示されます。
- ・ [修正] (F8) キーを押します。

(手順 8-3)

登録内容の説明	会社コード	会社名(カナ)	会社名
総合振込 ○○銀行	0000000001	かんが'ズ'クヨク'	株式会社 新宿商事 ...
総合振込 ××銀行	0000000003	かんが'ズ'クヨク'	株式会社 新宿商事

- ・ [会社選択]画面が表示されます。
- ・ 修正する会社情報を選択して[OK]をクリックします。

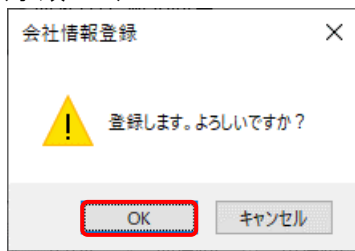
(手順 8-4)

- ・ 登録済みの内容が表示されます。
- ・ 修正が必要な項目を入力し、[登録]をクリックします。

修正が必要な項目

銀行コード	0140
支店コード	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
預金種目	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
口座番号	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
会社コード	EB 利用申込書 (EB データ伝送申込書) 参照
会社名 (カナ)	口座名義 (振込先の通帳摘要に表示させたい会社名) を入力
会社名 (漢字)	口座名を漢字で入力

(手順 8-5)



- ・登録確認メッセージが表示されます。
- ・ [OK] をクリックすると登録されます。

(手順 8-6)

- ・ 続けて他の会社情報も修正する場合は、[検索] (F8) キーを押します。
手順 8-3～8-5 の操作で修正してください。
- ・ [閉じる] (F12) キーを押すと終了します。
- ・ 会社情報登録作業終了です。